

## まちづくりサロンとまちづくり広場の「使い方と運営のあり方について」意見交換のまとめ

色いろな世代が集まって、常に使用される地区センターであることが重要。自然に醸成されるマナーやルールを大切にする。

### 前 提

誰でも気軽に使える場所  
利用者相互の対話の場をつくる  
様々な利用をしながらルールをつくる  
マナーとルールの浸透が重要

### 使 い 方 や 運 営 の イ メ ー ジ

大人が子どもと接する場所  
子どもたちのマナー教育の場所として活かす  
安全を最優先したルールをつくる（走らない！など）  
地域住民が望ましい運営について、指定管理者と連携して一定の役割を担う

### 子どもたちが使いやすい場所に

子ども用スタッフカードをつくろう  
・子どもが管理や運営などにに関わり、地域に参加するきっかけをつくる

まちづくり広場に落書きスペースをつくろう  
・楽しんだ後は、自分たちできれいに掃除をする

子どもたちが絵を描いてすごせる場所に  
・地域で協力して、裏が白いチラシなどを集めて設置し、自由に絵を描く

### 地域の人々が常に使用する場所に

みんながお互いに学びあう場にしよう！  
・使用後の掃除をしている大人をみて、子どもたちが見習う・・・など

メッセージボードを設置  
・館の利用者の気づきや感想を書く場所  
・こんな使い方もある、したいなど伝え合う

防犯のためにも地域が常に利用している場であることが大切

大人たちにもボランティアスタッフカードをつくろう  
・館の運営管理をサポートするボランティア人材登録制度をつくる  
・時間割や役割分担なども整理する

### 色いろな世代が交流しやすい場所に

月一回の定期的な講演会を開催することで施設に人が集まる機会をつくる

たまり場的な利用について  
・お互いに楽しく使う、しかし互いに迷惑はかけない自然なマナーが望ましい（ワークショップの場のように！）

高齢者が気軽に集まれる場所にしよう

高齢者、お父さんお母さん世代、その子どもたちが交流できる行事やイベントを企画する  
・高齢者が昔の遊びを子どもに教えるなど